

発達障害など支援必要な子ども

# 義務教育後の進路紹介



情報交流学習会に向けて協議する実行委＝赤磐市

発達障害や不登校をはじめ支援が必要な子どもの中学校卒業後の進路について紹介する「情報交流学習会」が31日午前10時～午後1時半、備前市で初めて開かれる。県・私立高校や通信制の教育機関など県内13団体が説明会を行い、22団体が個別相談ブースを設ける。実行委は「進路選択の一助になれたらうれしい」と参加を呼びかける。(平田知也)

備前

31日に「情報交流学習会」

## 高校、通信制教育機関 説明会や個別相談

義務教育後の進路、進学先が多様化してきた中で、子どもや保護者の主体的な選択をサポートする狙い。東備地域の障害者自立支援協議会や相談支援センターのスタッフ、教員らでつくる「春15の会 実行委」が企画した。

会場は市民センター(同市西片上)。御津高の末広聡校長、希望高等学園(通信制)の伊藤英明前副校長、備前市立日生中の久次博文教頭がパネリストを務め、各校の特色やサポート体制を語る学習会の後、1団体につき10分程度の説明会がある。個別相談は説明会と並行して応じる。

実行委は19日、赤磐市内で当日のスケジュールや役割分担を確認した。西田典子実行委員長(57)は「子どもたち一人一人がそれぞれにマッチした進路を選んで、18歳以降の生活へとつなげてほしい」と話す。9月11日まで参加団体の活動をYouTubeで配信している。

情報交流学習会は前身の取り組みを経て4年目。2023年度は赤磐市で開いた。参加無料。問い合わせは事務局・備前市社会福祉課障がい者福祉係(0869④1824)。

